

2020年世界保健デー テーマ：“Support Nurses and Midwives”

2020年は「看護師と助産師の年」です。

4月7日の世界保健デーは、医療を提供する看護師と助産師の果たす重要な役割に光を当て、その人的資源の充実を呼びかけます。

主要なイベントの一つとして、初めての世界看護レポート2020が発表される予定です。

WHOと国際看護師協会（ICN）が連携し、『Nursing Now』キャンペーンが実施されています。

日本看護協会では日本看護連盟と協力のうえ、都道府県看護協会とも連携し、Nursing Nowキャンペーンを実施しています。



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会



WHOファクトシート 看護と助産

2020年1月9日



《Key Facts》

- 多領域にまたがる専門性を持つ強力な医療チームの一員として、看護師と助産師は地域社会に寄り添い、患者中心のケアを確保しつつ、2018年の「プライマリ・ヘルス・ケアに関するアスタナ宣言」による公約の達成に多大な貢献をしています。
- 看護師と助産師は、世界の保健医療従事者の50%近くを占めています。
- 保健医療従事者は世界的に不足しており、特に、現在の保健医療従事者不足の50%以上を占めるのが看護師と助産師です。
- 需要の大きさからみて、東南アジアとアフリカで看護師と助産師の不足が最大となっています。
- WHOは、健康と福祉に関する持続可能な開発目標3を全ての国が達成するために、2030年までに世界中でさらに900万人の看護師と助産師を必要とすると推定しています。
- 看護師は、健康増進、疾病予防、プライマリケアおよびコミュニティケアの提供に極めて重要な役割を果たしています。看護師は救急現場でケアを提供し、UHC達成の鍵となるでしょう。
- すべての人々の健康を達成するためには、適切な訓練、教育、規律そして支援を受けた看護師と助産師の十分な人員が必要です。看護師と助産師は提供するサービスとケアの質に見合う報酬と社会的な認知を得ます。
- 看護師や助産師へ投資することはお金の価値を生かすことです。国連の保健雇用・経済成長委員会の報告書では、保健・社会セクターにおける教育と雇用創出への投資は、健康の改善、世界の保健安全保障、包括的な経済成長という3分野におけるリターンをもたらすと結論づけました。
- 世界全体では、保健・社会福祉従事者の70%が女性であるのに対し、すべての雇用セクターでは41%です。看護と助産の職業は、女性労働力の大きな割合を占めています。